

# 始良市社会福祉協議会（鹿児島県）

## 子どもの学習・生活支援事業による居場所づくり と多様な人の参加支援



### 1. 基本情報

①自治体・団体名	始良市社会福祉協議会
②住所等	〒899-5432 鹿児島県 始良市宮島町 26-19
③圏域の人口、高齢化率	人口：78,077人（令和4年6月現在） 高齢化率：約31.5%
④生活困窮者自立支援法に基づく事業の実施状況	自立相談支援事業（受託） 家計改善支援事業（受託） 就労準備支援事業（受託） 子どもの学習・生活支援事業（受託）
⑤主な事業・活動（④以外）	・ふれあいいきいきサロン事業 ・生活福祉資金貸付事業 ・ボランティアセンター事業 ・日常生活自立支援事業（福祉サービス利用支援事業） ・生活支援・介護予防サービス基盤整備事業 ・地域生活応援事業（有償ボランティア） ・介護保険サービス、障がい福祉サービス 等 ・心配ごと相談事業 ・食の自立支援事業（給食サービス） ・ファミリーサポートセンター事業

### 2. 取り組みの経緯・背景

- ・①親の収入が低かったり不安定なことにより、十分な教育が受けることができず、子ども自身も進学や就職が不利になり、次世代の子どもも貧困になるという子どもの貧困連鎖を脱すること、②子どもから高齢者まで幅広い世代の居場所を作ることを目的に「学校でも塾でもない、新しい居場所（マナビバ）」を子どもの学習・生活支援事業として平成29年度より実施。

### 3. 取り組み概要・実施体制

- ・市内3か所で、集合型（毎月第二土曜、長期休暇）、訪問型（不定期）、出張型（不定期）で事業（マナビバ）を実施。そのほかイベントも開催している。
- ・参加対象は「学習において何等かの課題を抱える世帯」としており、あえて誰でも自由に来られるようにすることで、参加している子どもが「生活困窮世帯の子ども」というレッテルを貼られないようにしている。
- ・マナビバには、ボランティアとして多くの大学生や高校生が関わり、身近なお兄さん、お姉さんのような存在として子どもたちと交流している。

テーマ別研修（生活困窮者支援における子どもと家族支援）  
「子どもの学習・生活支援事業による居場所づくりと多様な人の参加支援」

- ・学力の向上だけでなく、子どもたちにとって困ったときに頼れる大人との出会いや、安心できる居場所となることを大切にして活動している。
- ・ボランティアには、学生のほかひきこもり当事者も参加しており、子どもたちや他のボランティアとの関わりを通じた参加支援の場となっており、新しい自分を見つける場所（居場所）にもなっている。
- ・活動のなかで気になる子どもは、多機関と連携しながら必要な支援につないでいる。

#### 4. 成果や課題、今後の展開

- ・さまざまな家庭事情や課題があり、将来の目標を持たない子どもたちも、身近なお兄さん、お姉さんである学生ボランティアによる学習支援や関わりを通して、自分なりの目標を見つけていけるようになっていく。
- ・ボランティアとして参加していたひきこもりの方の中には、活動を通じて生きがいや価値観を見出し、その後就職するなど自立に結びついた方もいる。
- ・困ったときにいつでも頼れる人、居場所があることが大切であり、今後も、一人ひとりがその人らしい人生を歩めるような支援をしていきたい。

